



ピースデポ

平和資料協同組合

Peace Depot (Peace Resources Cooperative)

発行人: 田巻一彦 / 住所: 〒223-0062 横浜市港北区日吉本町 1-30-27-4 日吉グリーン1F
TEL: 045-563-5101 / FAX: 045-563-9907 / E-mail: office@peacedepot.org
郵便振替: 00250-1-41182 特定非営利活動法人ピースデポ
銀行口座: 横浜銀行日吉支店 普通 1561710 特定非営利活動法人ピースデポ

会報

No.36

2015.4.15

代表就任のご挨拶



「献身と技量」で 市民の潜勢力の開花に 貢献したい

田巻 一彦 (ピースデポ代表)

4月1日付でピースデポ代表に就任した 田巻一彦です。

広島、長崎の被爆そして敗戦後70年という節目の年に大役を務めることになり、身の引き締まる思いです。2000年の法人発足(準備体発足は98年)以来、服部学初代表(故人)、梅林宏道・湯浅一郎両代表が築きあげてきた、市民の手による平和のためのシンクタンクとしての蓄積を継承・発展させ、脱軍備 安全保障の理想の実現に向けて、邁進してゆく所存です。どうか宜しくお願いいたします。

ここでは、最近感銘を受けた、お二人の本とお話のことを書かせていただきます。

温かいことをすれば、活路が開ける

—鎌田 實さん

一人は医師の 鎌田實さん。長野県諏訪市で地域医療に携わりながらチェルノブイリや福島の子供たちに寄り添う活動を熱心に進めている人です。鎌田さんの著書「〇に近い△を生きる—『正論』や『正解』にだまされるな(ポプラ新書)の中に次のようなエピソードがありました。「脳卒中による死亡率全国1位」の長野県にある病院に赴任した時、鎌田さんが最初にやったことは「減塩」などを目標にする草の根運動と在宅ケアの創設だったそうです。長野県は野沢菜のような漬物で有名な地域。つまり塩分摂取量がとても多いことが脳卒中多発地帯の背後にあること、そして患者家族の

苦しみを緩和することこそが医療の使命だと確信してのことでした。

病院は億単位の累積債務を抱えていました。リストラや増収につながる医療に走らず、地道な活動を続け気がついたら長野県は平均寿命日本一になり、病院の債務も返済されていたと本には書かれていました。ことはそんな単純ではなく、人知れぬ苦勞を重ねた結果なのだろうと想像されます。注目したいのは鎌田さんがこの経験から導いた確信です。それは、ものごとを「文脈」としてとらえ、「別解力」を養うことが大切だということでした。「別解」とは、鎌田さんの言葉を借りれば「暖かいことをしていれば、必ず利益は上がってくる」と信じる、と言いかえることもできるでしょう。

秘訣は「献身と技量」

—ハンス・クリステンセンさん

もう一人、感銘を受けたのはハンス・クリステンセンさん。全米科学者連盟(FAS)の「戦略・安全保障ブログ」(<https://fas.org/blogs/security/>)で健筆を振るうクリステンセンさんの名前をご存じの方も多いでしょう。調査・研究活動を通して平和運動に貢献する、斯界そして世界の第1人者です。「核兵器・核実験モニター」でもしばしば、同氏の研究成果を使わせていただいています。3月7日、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)の招きで来日したクリステンセンさんのお話を東京で聞きました。(3ページ参照)。

掛け値なしに瞠目すべき成果をあげている調査・研究活動、その秘訣はと問われたクリステンセンさんは、こう言いました。「大事なものは献身と技量 (dedication and skill)だ」と。もっと専門的な奥義やノウハウ(「グーグル・アースでここまでわかる」といった興味深いお話も沢山あったのですが)を期待した私たちにとって思いの他シンプルで、そして深い答でした。同氏は次のようにも付け加えました。「情報公開制度を使う前に、当たり前公開情報をきっちりフォローすることが大事」だと。そして「ブログ」編集に日常的に携わるスタッフの数が想いの外少ない(たしか「2人」だったか)ことも意外でした。

温かい心と鋭利な頭脳を

紹介したお二人の経験と考え方を読み、聞きながら思ったことは、「これってピースデポのことではないか」ということでした。ピースデポ設立を動かしていた動機と活動理念はホームページやリーフレットの冒頭に掲げられた、文化人類学者マーガレット・ミードの次の言葉に集約されています。「・・・疑いもなく、小グループの思慮深く献身的な市民が世界を変えることができる。実際、そのような者だけが世界を変えるのである。」

鋭利な思考と献身をもって、温かいことをしていくことを通して、市民社会の潜勢力を育て、やがては社会を変革していく、このプロセスに調査・研究活動に貢献する使命を持ってピースデポは引き続き前進してゆきます。ひとつひとつの社会・政治事象にタイムリーに対応すると同時に、それらの背後にあるダイナミズムを実証的にとらえてゆくこと。難しい命題ですが、それを市民社会に潜在する「平和力」を発展させる原動力としていきたいと思います。じわじわと効いてくる「遅効性肥料」のように。

安全保障の「パラダイム転換」に向きあう

安倍晋三氏が率いる政権によって、日本は安全保障政策のパラダイムを転換しようとしています。昨年7月1日の閣議決定「国の存立を全うし、国民を守るため

の切れ目のない安全保障法制の整備について」は、奇妙かつ矛盾に満ちた文書です。冒頭で専守防衛や非核三原則といった憲法平和原則を「より確固たるものにしなければならない。」としながら、その実は米国との海外での戦争協力を拡大する諸施策を推進するとしているのですから。この論理的飛躍の結節点に置かれた言葉が「積極的平和主義」です。日本の市民は、「積極的平和主義」の意味と内実を巡る綱引きに当事者として参加せざるを得ない場所に立たされています。これは「たたかい」です。ピースデポはその「たたかい」に、与えられた使命を全うすることを通して参画してゆきたいと思います。どうか力を貸してください。

総会で決まった今年の主な事業計画

● 基本方針

1. 核兵器廃絶に向けた国際的な世論形成への日本の市民社会からの寄与
2. 「北東アジア非核兵器地帯」を促進する活動
3. 自治体と市民の連携した力を引き出す取り組みの継続
4. 軍事費を削減し、社会開発への投資を求める国際的な共同行動への関与
5. 「核兵器・核実験モニター」刊行や出版事業の定着、拡大をめざす
6. 会員、支持者の拡大と、ネットワークの拡充・活用

● 事業プログラム

1. 核兵器廃絶への気運を具体化させる世論形成への積極的関与
2. 「北東アジア非核兵器地帯」促進に向けた取り組みの強化
3. 「核兵器・核実験モニター」刊行20周年記念イベント、及び出版事業
4. 軍事費削減を求める運動に資する調査活動の推進と新運動「戦争を超えた世界」への参加
5. 「核兵器・核実験モニター」の発行
6. イアブック「核軍縮・平和」の発行と販路の拡大
7. 「ピースデポ・ブックレット」、「ワーキング・ペーパー」の発行
8. 米軍、自衛隊の動向調査
9. 継続する活動

● 組織体制の整備

1. 代表の交代
2. 常駐スタッフ3名体制の確立
3. 運営委員会等の適時の運用
4. 「ピースデポ協力研究員」
5. 他機関との研究調査協力と平和活動のコーディネーション
6. 会員、モニター購読者の拡大：数値目標の設定
7. 人的ネットワークの拡充・活性化に向けた施策
8. 助成金・調査受託の開拓

ピースデポ第16回総会記念講演会

安倍政権の安保政策を問う―北東アジアで日本は何をすべきか

2月28日、ピースデポ第16回総会記念講演会「安倍政権の安保政策を問う―北東アジアで日本は何をすべきか」を川崎市国際交流センターで開催しました。

元内閣官房副長官補の柳澤協二さんに「集団的自衛権で迷走する日本の安全保障・民主主義―安倍政権安保政策の検証」をテーマにご講演いただき、参加者との質問を交えながら、議論を深めました。



柳澤協二・元内閣官房副長官補



代表退任のご挨拶 湯浅一郎



4月1日をもって08年2月から丸7年務めたピースデポ代表を辞しましたのでご挨拶申し上げます。体を壊すことなく、何とかすごすことができ安堵しています。

4年前の3.11、東日本大震災とそれに伴う福島事態をピースデポ事務所で経験し、それが問う課題が現在の私にとって最大のテーマです。福島事態は、世界三大漁場の一つを汚染し、東日本の各地で放射能汚染は深刻化したままです。学生時代の女川、その後、瀬戸内で海を対象に活動して来た経験を活かし、残りの時間を人間と自然との関係性に関わる問題領域に使いたいと思います。平和・軍事の問題も、自然観の共有がポイントと考え、生物多様性などをキーワードに地球・自然という観点から人類社会の惨状を見つめ直す作業に尽力する所存です。その中には畑仕事も含まれます。

新代表の田巻さんは、ピースデポのことはよくわかっている人ですので、安心して任せられます。私は、当面、副代表として残りますので、ピースデポともども、これからもよろしくお願いいたします。

公開セミナー

世界の核兵器の現状と市民の調査力

3月7日、明治学院大学白金校舎にて、ハンス・クリステンセン全米科学者連盟(FAS)核情報プロジェクト代表にご講演いただきました(主催:ピースデポ、後援:明治学院大学国際平和研究所(PRIME))。

確かな調査活動に基づく現在の世界の核兵器保有国の現状や、調査・分析の手法について、貴重なお話をお聞きする機会となりました。

ハンス・クリステンセン氏



好評
発売中!

イアブック「核軍縮・平和2014」—市民と自治体のために

特集 核兵器:非人道性から禁止の法的枠組みへ

会員価格1700円
一般価格2000円
(+送料)

核兵器の「人道的側面」が焦点化する国際社会の中で、被爆国・日本のあるべき姿とは—? 核軍縮と平和をめぐる2013~14年の世界と日本の動きや、自治体、NGO、市民の取り組みを、解かりやすいキーワードで解説しています。ぜひ座右にご一冊。周りの方々にもお広めください!

10冊程度の預け売りや、お近くの図書館へのリクエストなどにもご協力を!

監修:梅林宏道/編著:NPO法人ピースデポ
発行:緑風出版 A5判、356ページ

☐ 2013年のキーワード:核軍縮/ミサイル防衛/米軍・自衛隊/自治体とNGO ほか
☐ 市民と自治体にできること ☐ 豊富な一次資料

総会への会員・助言者からのメッセージ

総会に向けて、今年も多くの会員の皆様から、激励・ご提案をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。メッセージの一部をご紹介します。

●みなさん御苦勞様です。いつも貴重な情報をいただいています。安倍の暴走阻止の為に共に闘いましょう。

●NDJ(核軍縮研究会)も、1992年以来、第20回記念研究会を終えました。今後もピースデポとの並走を志しております。

●核兵器・核実験モニター465号の「核兵器禁止・廃棄の法的枠組み諸オプションを整理する」の記事いいですね。私たちの中でも、ていねいな議論をする必要があります。いい問題提起になりますね。

●「イアブック」は、長崎の証言の会では、運営委員や平和講話を行う人にも好評ですので、早い時点での刊行をお願いします。米軍、自衛隊の動向調査が、特定秘密保護法の施行で大幅に制限されるのではないかと懸念します。保護法に左

右されることなく、毅然と調査してほしい。憲法を守るためにも闘ってほしい。

●日頃のご活躍に敬意を表します。貴会のご発展を遠くからお祈りいたします。

●いつもお世話になっております。戦後70年、お互いにがんばりましょう。

●核保有国、とりわけ米国とロシアに怒りを覚えます。日本政府にも怒ります。新アジェンダ連合がたのもしいですね。主権者人民の目覚めにかかっています。がんばりましょう。MLKing, Jr. の、「絶望の山から希望の石を切り出そうと努力する」という言葉を、座右の銘に。

●ピースデポの重要さをますます実感しています。若い人々にとって平和への知的活動拠点として魅力ある場所にしたいですね。

●湯浅さん、お疲れさまでした。お伺いして労をねぎらうのが筋ですが、なかなか上京することができません。今後も、ご活躍をお祈りします。また、田巻新体制でパワーアップして、どしどし政府をWATCHしていって下さい。

●戦後70年の今年、これまで形成途上にありながら徐々に歪められてきた日本の「民主主義」は、今、安倍政権の暴走の下で、その根をつぶされる危機に瀕していると思えてなりません。戦争と核兵器を超え、人々の平和構築を目指すピースデポの役割は非常に大きいと思います。北東アジア非核兵器地帯構想をWCCはじめ宗教界にも広めること、また、特に若い人たちとの参加型の活動は有効だと思い、期待しています。

- # 核廃絶 発信し続ける

NPT会議 27日から

被爆70年

核兵器の保有数公表など、透明性の向上については一定の成果があったが、安全保障における核兵器の役割を減らすことなど、進んでいない項目も多い。核兵器体制は意味があるのか」といった意見も出るだろう。

ルのNGOと、北朝鮮を含む北東アジアの非核兵器地帯化を目指す会議を開く。市民レベルで交流し、核兵器に依存しない安全保障の構築に向けて議論を深めることが目的だ。

――核兵器廃絶に向け、

市民社会が果たす役割は何でしょうか。

我々の願いは、核保有国が、NPT第6条で義務づけられている核軍縮努力に応じて、核兵器禁止条約に向けた議論が早期に実現すること。微力かもしれないが、発信を続けることが大

——現地入りする被爆者の声は、どのような影響を与えているのか。

——これまでの会議でも被爆者は原爆展を開いたり、証言を行ったりして、核兵器廃絶のメッセージを各国代表に届けてきた。

——「3度目の核兵器禁止決定に使われるべきでない」という被爆者の訴えとともに、「我々も草の根で活動を進め、大きなうねりにつなげてい。」

九電・川内原発の事故時

湯浅さんは元産業
術総合研究所職員で、
東京電力福島第一原発
事故が海や川にもたら
した環境汚染について

中で最南端に位置する
が、事故が起これば黒
潮や対馬海流に乗って
東に放射能が流れ、日

本邦島の多くの沿岸に、影響を与えたと指摘。瀬戸内海にも汚染水は流入し、鹿児島県から千葉県まで沖を黒潮が流れる海域の魚類は、すべて被害を受けると警告した。九州に對馬海峡の流れ、九州北岸や日本海沿岸にも汚染は広がり、全国で壊滅的な被害を受けると予測している。

福島での事故が海に生物に与える影響は、鰻を踏まえて、潮浅水域には「放射能汚染」による「生物の繁殖低下や遺伝的変化、胎生生態系への長期的影響を考慮すべきだ。これを認めれば、原発再稼働はあり得ない」と話した。

たという見立てだ。4月
に、地方選への影響を最小限に
抑えるという意思も読み合い、自
己のよき事態に派遣する
などのような事態に派遣する
といった重要事項の合意は先
行した。

「と、嫁田さんは言う。『間
接的、安倍首相、代官の話を済ま
す米国の要求に』。これが布石
米国のため、これに応じて自衛隊
外へ次々と出て行かなければ
ならぬ」と

■帰 結

理に叶ったと言ふことだ。(中略) アファニスタンには幾帳面に報じている人が約40万人もいるとされています。そしてこう結んだ。
「あなたも一緒にやりませんか」
2カ月間、毎週日曜日に東京渋谷のハチ公前でイベントを開き、約6千人分の署名を集めた。大学卒業と同時に「リステドで水電や安全設備を調査・研究するようになった。不条理がそれから十数年、不条理がそれから十数年になるひす

[illegible]

意識の

低さが、

ひずみに

政府見解の基本的な論理の枠内に
おける論議的なはじめの果実で
あり、論議に反するものでは
ありません
塚田さんにはフッターで反論し
た。
た。「解釈改憲」も「立憲主義」
も、その主権者である国民が
「権利・判例」を通じてあり、政
府からこれらを守るのを助ける
スタートのところが違えば違え
ない。
そして政権を切り捨てて。
仮設さんが戦日本最低

[illegible][illegible]

一人がもつ錢くなくなければ
人ならぬ。平和民主主義は空
なる水に漂つ、ほついたら無
くなるもの。

政權の更迭を希望するならば14
月夜の選挙率は極めて重要な局
面となつたといふが、投票率は5
・96（小選挙区）で戦後最低を
記録、自民はほぼ全有権者の半
分の得票数で衆議の約6割の議席を
獲得した。

「有権者の意識の低さこそが、
この政權が生まれた大元ルキ」